

◇ 運営の理念 ◇

いつも明るく
物事を正しくわきまえる
そして人と仲よくできる
子どもを育てる事を
理念とします



「施設運営向上事業」について

施設長 丸山 徹

杉並学園が専門機能強化型児童養護施設の指定を受けて三年目になります。東京都専門機能強化型児童養護施設制度実施要項第3条(5)や4条(5)によりまずと、指定の施設は外部の機関や専門家等を活用して施設運営の向上の取り組みを行う事になっていきます。当施設で実施した過去二回の「施設運営向上事業」を振り返りますと、初年度平成二十四年度は

法政大学の岩田教授を座長に、「事故防止とヒヤリハット」についての研究を行い『事故の予防と対策に関する提言』をまとめました。

次年度平成二十五年度は、前年度の研究の中で性的な事故対応の問題の重要性を受け、諸岡クリニックの諸岡院長を座長に「性的事故対応と性教育マニュアル作成」を行いました。一般論を越えた、杉並学園の現場のための指標を提案することができたと考えています。



さて、三回目となる今年度は、前年度の研究を受け、性感染症を含む感染症の問題に取り組むことを決定し、元国立国際医療センター看護師長・現寺田医院看護師長の丹治郁子氏を座長に引き続き諸岡院長の協力を得な

から「スタンダード・プリコーションの実施に関する研究」を行っております。単に施設としての感染症予防対策ではなく、感染症予防のための振る舞いや動作を身に着ける事で、子ども達が意識しなくても、自然に健康に暮らせる一生の財産になれば良いと考えております。施設での生活体験を人生のプラスにして欲しいと願っています。

マツヤサロン

今年も7月に杉並会館マツヤサロンの食事に招待して頂きました。この食事は、松屋グループ労働組合連合会の方々が児童養護施設の児童を食事に招待したいと企画して下さいました。子ども達は毎年この食事を楽しみにしており当日はおめかしして出かけていきます。今年も、この食事を学園に繋いでくださった杉並区社会福祉協議会の方や学園の第三者評価委員の方、ボランティアサークル「ボサボサ」の皆さんのご都合もつき、日頃お世話になっている方々とも一緒に楽しいひと時を過ごすことができました！



マツヤサロン



ごちそうさまでした！

GWレクリエーション

毎年恒例となっている進む会のみなさんとのゴールデンウィークレク。今年も5月3日に昭和記念公園へ遊びに行きました。お天気にも恵まれ、たっぷり体を動かして楽しい一日を過ごしました！子どもや職員の感想をご紹介します☆

★小3 Rちゃん
長い滑り台が楽しかったです。暑かったけど面白かったです。
★よつばホーム職員 Yさん
よつばの幼児、小学生は元気いっぱい遊び周り、楽しい一日を過ごすことが出来ました。帰り道、歩き疲れた子供を見て声をかける年上の子ども達の姿が、とても微笑ましかったです。



★小6 Mちゃん
他のホームの実習生さんと沢山遊んで、虹のハンモックを揺らしてもらって楽しかったです。
★あんずホーム職員 Nさん
何も無い野原でどれだけ遊べるかなと思いましたが、行けばそんな心配なんのその。追いかけてここに縄跳び、ゴムとび、ボール遊びにシャボン玉、本当のびのび楽しく遊べました。やっぱり、青空の下のご飯と遊び、年に一度はやりたいです。